

1. 授業の概要(ねらい)

ヨーロッパ統合の歴史・理論・展開について検討する。統合を国民国家の発展の中で捉え、危機時の「国境を越えたりストラ」と解釈する。新しい統合の理解の仕方について学生にも問いを投げるが、ディスカッションや討論といった形で学生にも反応してもらう。

2. 授業の到達目標

国際社会の中でのヨーロッパ統合の理論と歴史、その仕組みや意義について習得する。

3. 成績評価の方法および基準

試験(70%)・レポート(30%)で評価する

4. 教科書・参考文献

教科書

渡邊啓貴編著 ヨーロッパ国際関係史 有斐閣

小久保康之編著 EU統合を読む 春風社

参考文献

羽場久美子編著 EUを知るための63章 明石書店

5. 準備学修の内容

日ごろから欧州の動向について新聞・雑誌記事、関連文献などでカバーしておくこと。

6. その他履修上の注意事項

パワーポイントを使うが自分自身のノートを作ることが望ましい。

7. 授業内容

- 【第1回】 欧州統合の歴史1 ローマ帝国から前近代的統合
- 【第2回】 欧州統合の歴史2 近代的統合からブリアンの統合
- 【第3回】 欧州統合の歴史3 第二次世界大戦後の欧州
- 【第4回】 欧州統合の歴史4 ECSC・EEC・EURATOM
- 【第5回】 統合の理論1 経済統合の理論
- 【第6回】 統合の理論2 新機能主義
- 【第7回】 統合の理論3 国境を越えたりストラとデモクラシーの理論
- 【第8回】 EEC共通関税政策・共通農業政策
- 【第9回】 1970年代の通貨統合の試み
- 【第10回】 先進国民国家の挫折と域内市場統合
- 【第11回】 マーストリヒト条約とEUの構造
- 【第12回】 共通通貨導入とユーロ経済圏
- 【第13回】 ユーロ危機と経済同盟の発展
- 【第14回】 戦後政治統合の試みからCFSP(共通外交安全保障政策)へ
- 【第15回】 ESDP(欧州安全保障防衛政策)からPESCO(常設防衛機構)へ